



平成25年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月12日

上場会社名 住江織物株式会社 上場取引所 東・大  
 コード番号 3501 URL http://suminoe.jp/  
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 吉川 一三  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営統括室長 (氏名) 飯田 均 (TEL) 06-6251-6803  
 四半期報告書提出予定日 平成24年10月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年5月期第1四半期の連結業績(平成24年6月1日~平成24年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年5月期第1四半期	18,677	18.4	99	—	216	—	20	—
24年5月期第1四半期	15,776	△8.4	△466	—	△428	—	△365	—

(注) 包括利益 25年5月期第1四半期 △74百万円( —%) 24年5月期第1四半期 △705百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年5月期第1四半期	0.28	—
24年5月期第1四半期	△4.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年5月期第1四半期	75,332	28,747	34.5
24年5月期	76,663	29,049	34.2

(参考) 自己資本 25年5月期第1四半期 25,997百万円 24年5月期 26,231百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年5月期	—	2.50	—	2.50	5.00
25年5月期	—	—	—	—	—
25年5月期(予想)	—	2.50	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年5月期の連結業績予想(平成24年6月1日~平成25年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	40,300	11.3	760	340.6	930	285.6	650	—	8.60
通期	81,000	7.5	2,000	94.0	2,350	85.7	1,500	139.5	19.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年5月期1Q	76,821,626株	24年5月期	76,821,626株
25年5月期1Q	1,275,771株	24年5月期	1,275,413株
25年5月期1Q	75,546,037株	24年5月期1Q	75,549,553株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(4) セグメント情報等	P. 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 8
(6) 重要な後発事象	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、長期化する円高や世界景気の減速の影響を受けたものの、企業収益の持ち直しや設備投資の増加に加え、復興需要の強まりにより緩やかな回復が続きました。

その結果、当第1四半期における連結業績は、売上高186億77百万円（前年同期比18.4%増）、営業利益99百万円（前年同期 営業損失4億66百万円）、経常利益2億16百万円（前年同期 経常損失4億28百万円）、四半期純利益20百万円（前年同期 四半期純損失3億65百万円）となりました。

セグメントの業績については、次のとおりであります。

#### (インテリア事業)

オフィスビルや商業施設、ホテル向けの業務用カーペットは、大型物件の受注が増加したことや、循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS（エコス）」が順調に販売数を伸ばしたことから、売上高は前年同期を上回りました。一般家庭向けカーペット、ラグマットは、消費マインドの改善がわずかに見られましたが、売上高は前年同期を下回りました。カーテンでは、主力の「U-Life（ユーライフ）Vol.6」に加え、「ディズニーシリーズ」、「デザインライフ」が好調に売上高を伸ばした結果、売上高は前年同期を上回りました。壁紙では、「ルノンホーム1000」と量産タイプの「マークⅡ」を中心に拡販に努めましたが、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、インテリア事業では、売上高76億46百万円（前年同期比2.0%増）、営業損失1億68百万円（前年同期 営業損失2億25百万円）となりました。

#### (自動車・車両内装事業)

自動車関連では、国内の自動車生産は電力不足による生産活動の停滞もなく、エコカー補助金制度の効果で好調を継続し、当社の自動車向けカーペット事業とスミノエ テイジン テクノ株式会社のシート表皮材事業は、売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

一方、海外では、欧州債務問題の長期化等の影響から自動車生産が減少傾向にあるものの、米国子会社STA（Suminoe Textile of America Corporation）および中国子会社SPM（住江互太（広州）汽車繊維製品有限公司）は、売上高と営業利益ともに前年同期を上回りました。

車両関連では、鉄道各社の予算引き締めによる需要縮小からわずかに回復するなか、私鉄を中心とした大型のリニューアル物件の受注獲得や、鉄道車両やバスの床面に貼付するオレフィン系表示材「OH（オー）フィルム」の積極的な販売により、売上高は前年同期を上回りました。バス関係では、新車規制施行後の需要の減少がありましたが、売上高は東日本大震災の影響を受けた前年同期を上回りました。

以上の結果、自動車・車両内装事業では、売上高103億36百万円（前年同期比37.8%増）、営業利益6億17百万円（同484.3%増）となり、前年同期を大きく上回りました。

#### (機能資材事業)

ホットカーペットは、需要が増加するなか好調を維持して受注を伸ばしました。タイルカーペットのOEM販売は、国内は売上高が伸び悩みましたが、輸出は円高が続く厳しい市場環境ながらも前年同期を上回りました。消臭関連は前年同期を上回りましたが、土木分野の特殊遮水シートおよびスミロン糸の販売は低調に推移しました。

以上の結果、機能資材事業の売上高は6億71百万円（前年同期比9.9%減）、営業損失30百万円（前年同期 営業損失37百万円）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少等により前連結会計年度末に比べ13億30百万円減少し753億32百万円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ10億29百万円減少し465億84百万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末に比べ3億1百万円減少し287億47百万円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

国内景気は緩やかな回復が続いておりますが、欧州債務危機をめぐる不確実性は依然として高く、また、新興国の景気減速や日中関係悪化による日本経済への影響等、わが国経済の下振れリスクは強まっております。先行き不透明な状況ではありますが、平成24年7月13日に発表した第2四半期連結累計期間および通期の業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,112	5,538
受取手形及び売掛金	20,442	19,824
有価証券	317	317
商品及び製品	7,682	8,317
仕掛品	1,769	1,693
原材料及び貯蔵品	1,794	1,993
その他	4,242	3,857
貸倒引当金	△33	△24
流動資産合計	43,327	41,519
固定資産		
有形固定資産		
土地	18,332	18,324
その他(純額)	8,079	8,319
有形固定資産合計	26,411	26,644
無形固定資産		
	361	380
投資その他の資産		
その他	6,738	6,957
貸倒引当金	△175	△168
投資その他の資産合計	6,563	6,788
固定資産合計	33,335	33,813
資産合計	76,663	75,332

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,901	15,775
短期借入金	11,086	10,893
未払法人税等	253	123
その他	3,211	3,778
流動負債合計	31,452	30,570
固定負債		
長期借入金	5,347	4,945
退職給付引当金	3,648	3,696
役員退職慰労引当金	309	305
負ののれん	221	199
その他	6,633	6,867
固定負債合計	16,161	16,014
負債合計	47,614	46,584
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,652	2,652
利益剰余金	7,146	6,978
自己株式	△330	△330
株主資本合計	19,022	18,854
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△22	71
繰延ヘッジ損益	△20	△23
土地再評価差額金	7,867	7,867
為替換算調整勘定	△615	△772
その他の包括利益累計額合計	7,208	7,143
少数株主持分	2,817	2,750
純資産合計	29,049	28,747
負債純資産合計	76,663	75,332

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)
売上高	15,776	18,677
売上原価	12,492	14,790
売上総利益	3,284	3,887
販売費及び一般管理費	3,750	3,787
営業利益又は営業損失(△)	△466	99
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	50	42
負ののれん償却額	22	22
不動産賃貸料	59	58
その他	71	79
営業外収益合計	208	207
営業外費用		
支払利息	62	56
持分法による投資損失	51	5
不動産賃貸費用	14	11
その他	41	16
営業外費用合計	171	90
経常利益又は経常損失(△)	△428	216
特別利益		
固定資産売却益	2	1
災害に伴う受取保険金	—	169
特別利益合計	2	170
特別損失		
固定資産除売却損	3	4
投資有価証券評価損	59	—
災害による損失	32	262
特別損失合計	95	266
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△521	120
法人税、住民税及び事業税	19	110
法人税等調整額	△117	△33
法人税等合計	△98	77
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△422	43
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△57	22
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△365	20



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△422	43
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△108	94
繰延ヘッジ損益	△27	△3
土地再評価差額金	—	0
為替換算調整勘定	△149	△210
持分法適用会社に対する持分相当額	2	1
その他の包括利益合計	△283	△118
四半期包括利益	△705	△74
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△615	△44
少数株主に係る四半期包括利益	△90	△30

**(3) 継続企業の前提に関する注記**

該当事項はありません。

**(4) セグメント情報等**

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,498	7,499	745	15,743	32	15,776	—	15,776
セグメント間の内部 売上高又は振替高	112	6	9	128	58	186	△186	—
計	7,610	7,506	755	15,872	91	15,963	△186	15,776
セグメント利益 又は損失 (△)	△225	105	△37	△157	11	△145	△320	△466

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。  
 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△320百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△321百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用等であります。  
 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年6月1日 至 平成24年8月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,646	10,336	671	18,654	23	18,677	—	18,677
セグメント間の内部 売上高又は振替高	117	0	10	129	69	198	△198	—
計	7,764	10,336	682	18,783	92	18,876	△198	18,677
セグメント利益 又は損失 (△)	△168	617	△30	418	8	426	△327	99

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。  
 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△327百万円には、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△333百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用等であります。  
 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

**(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記**

該当事項はありません。

**(6) 重要な後発事象**

該当事項はありません。